

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成27年7月8日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第27週 2015年 6月 29日 ~

2015年 7月 6日

設置定点数 48 ケ所

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ					3			1	1	5			1	1						1	1	1								

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

## 小児科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～					
RSウイルス感染症																													
咽頭結膜熱	1	1				2	5	8	2	19			10	4		1		1		1		1	1						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	3		1	10	1		7	28	55		1	6	5	6	8	4	4	5	3	4	4	3	2					
感染性胃腸炎	6	11	4	9	43	15	54	108	32	282	6	17	27	26	29	24	21	21	21	16	10	20	8	36					
水痘		1	2		3			2	7	15		1	1	3	1	2	1	3	1	1		1							
手足口病	54	8	6	2	37	7	24	14	24	176		14	34	32	35	28	11	9	6	1		4	1	1					
伝染性紅斑	4		1		3	1		5	12	26			1		4	5	2	5	2	3	2	2							
突発性発疹	1	2	1			1	1	2	3	11		1	9		1														
百日咳																													
ヘルパンギーナ	3		1	3	2		4	3	4	20		2	10	1	4	2		1											
流行性耳下腺炎					1	1				2																			

昨年夏、約70年振りとなるデング熱の国内感染が確認され話題になりました。神戸市では昨年5例の届出がありました。すべて東南アジアの流行地からの帰国者です。デング熱はヒトからヒトに直接感染はせず、デング熱に感染した人の血を吸った蚊（日本ではヒトスジシマカ）の体内でデングウイルスが増殖し、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。突然の発熱、頭痛、急激な血小板減少、白血球減少などが主な症状です。感染予防として、水たまり等の蚊の発生源を減らすことや、肌の露出を少なくし、蚊取り線香や虫除けスプレーを使用する、網戸をしっかりしめるなど、蚊にさされないように注意することが大切です。

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

## 眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎					1	2	1			4								1						2	1				

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○マイコプラズマ感染症2例:5～9歳女(6102)  
 灘区○アデノウイルス感染症1例:0～4歳男(6202)  
 北区○アデノウイルス感染症9例:0～4歳男女、5～9歳男女(6505)  
 北区○マイコプラズマ感染症4例:0～4歳男、5～9歳男(6505)  
 垂水区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:0～4歳女(6802)  
 垂水区○病原性大腸菌感染症1例:年齢・性別不詳(6804)  
 垂水区○カンピロバクター感染症1例:年齢・性別不詳(6804)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は20人(うち潜在性結核感染症6人)です。

## 【市内の感染症の状況】

手足口病の定点あたり患者数は今週5.68人(先週5.39人)となり、警報レベル開始基準値(定点あたり患者数5人)を超えています。先週に引き続き今後の動向に注意が必要です。

## 【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

## 神戸市 発生動向 [検索]

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2015年7月8日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	5-9歳	2015年6月18日	2015年6月21日	2015年6月30日	O157	LPS抗体検出	腹痛、水様性下痢、血便、発熱、溶血性貧血、急性腎不全、HUS	不明	
女	60代	/	2015年7月2日	2015年7月2日	不明	便培養法	/	不明	
男	10代	2015年6月27日	2015年6月29日	2012年7月3日	O165	便培養法	腹痛	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 水痘(入院例))

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	0-4歳	2015年6月24日	2015年6月26日	2015年6月26日	/	臨床決定	発熱、発疹	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	0-4歳	2015年6月24日	2015年6月25日	2015年6月25日	/	血液培養法	肺炎、菌血症	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	80代	2015年6月25日	2015年6月25日	2015年6月25日	/	胆汁からの分離・同定	胆管炎	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 ウイルス性肝炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2015/6頃	2015年6月30日	2015年7月3日	B型	血清でのIgMHBc抗体の検出	全身倦怠感、肝機能異常	異性間性的接触	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	30代	/	2015年3月19日	2015年3月25日	/	RPRカードテスト TPHA法	/	同性間性的接触	
女	30代	/	2015年2月18日	2015年3月24日	/	RPRカードテスト TPHA法	/	異性間性的接触	
女	20代	不明	2015年6月18日	2015年6月18日	早期顕症 梅毒Ⅱ期	RPRカードテスト TPHA法	/	異性間性的接触	

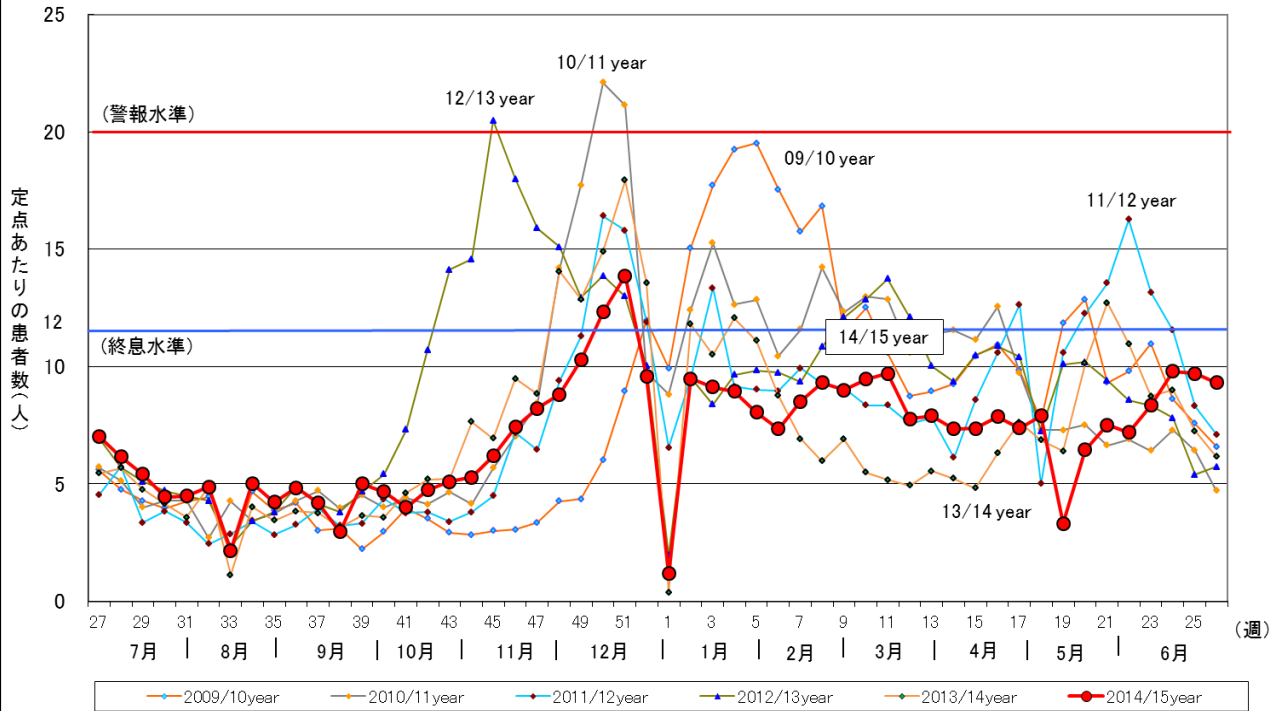
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 アメーバ赤痢)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	50代	2015/5月下旬	2015年6月16日	2015年7月6日	腸管アメーバ症	鏡検による 病原体の検出	下痢、便潜血	同性間性的接触	

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

第27週の検出報告はありません。

### 定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



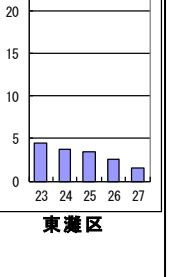
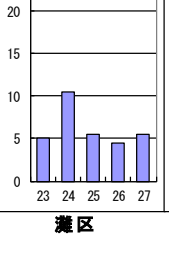
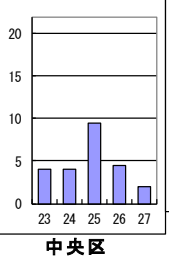
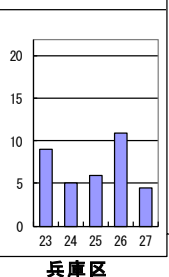
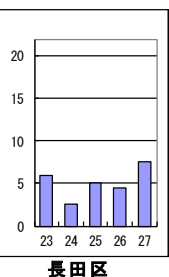
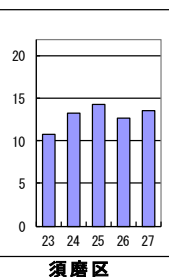
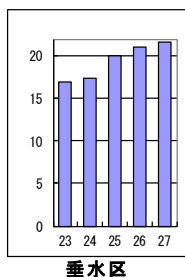
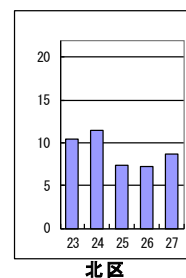
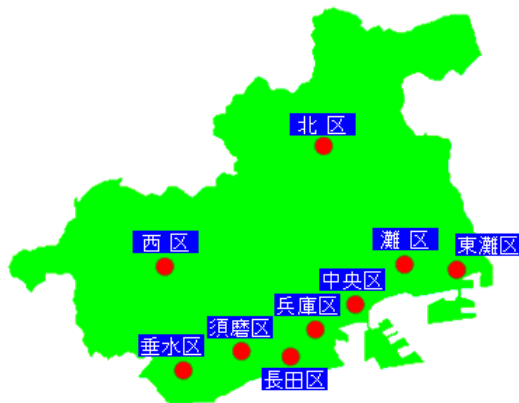
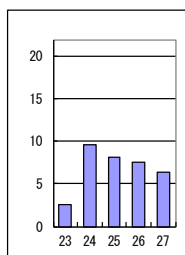
### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 23 週 平成27年6月1日

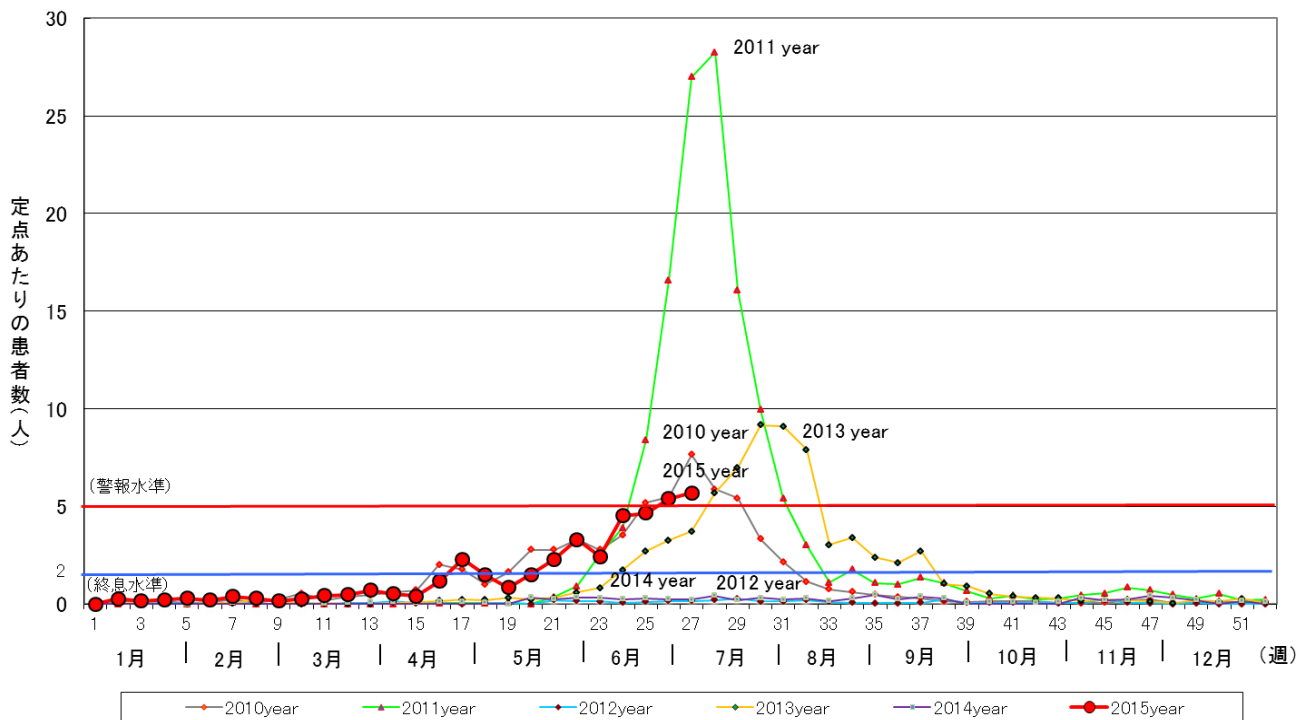
～

第 27 週 平成27年7月5日

#### 感染性胃腸炎



### 定点あたりの手足口病報告数



### 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 23 週 平成27年6月1日

~

第 27 週 平成27年7月5日

#### 手足口病

